

(2) 文部科学大臣表彰若手科学者賞

表彰対象

1. 文部科学大臣表彰若手科学者賞は、次代を担う若手研究者の自立を促し、我が国発の独創性の高い科学技術の発信に貢献するため、萌芽的な研究あるいは、独創的視点に立った研究等、高い研究開発能力を示した若手研究者個人を表彰する。
2. 文部科学大臣表彰若手科学者賞は、以下の要件に該当する者を対象とする。
萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績を挙げた若手研究者個人

〈解 説〉

- * 1 「萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績を挙げた若手研究者個人」とは
 - ・科学技術の各分野において、新たな研究手法、独創的な視点に立った研究手法等により、その研究開発能力の優秀性を示す顕著な業績を挙げた者
 - ・学会表彰等により、研究の独創性等が客観的に評価されている者
 - ・国際的に高い評価を得ている学会誌・雑誌等に論文が掲載され、その優秀性が客観的に評価されている者
- * 2 本賞にいう「若手研究者」とは
 - ・受賞時(表彰年度の4月1日現在)において40歳未満の研究者

○申請に必要な書類等

文部科学大臣表彰若手科学者賞への申請に際しては、以下の書類を所定の様式に従い作成のうえ提出すること。

- (1) 候補者調査書 (3部)
様式10 (38～44頁) に従い作成すること。
- (2) 候補者調査書付属資料「新聞等掲載状況一覧」(3部)
様式11 (45頁) に従い作成すること。
本資料に記載した新聞記事等のうち、表彰対象の成果が具体的に記載され、その内容が理解しやすい新聞記事等の写 (10件以内) を添付すること。(各2部・両面印刷不可)
- (3) 履歴書 (1部)
様式12 (46頁) に従い作成すること。
- (4) 戸籍抄本 (1部)
- (5) 候補者推薦書 (各1部)
様式13 (47頁) に従い作成すること。
 - ・本推薦書の作成については、推薦機関が責任を持つこと。
 - ・本推薦書は候補者の研究能力に対する客観的評価に関わるものである。
 - ・本推薦書は、候補者及び候補者の研究内容について理解し、十分把握している者(例えば候補者の所属する研究チームのリーダー及びサブリーダー、もしくは当該研究チームの一員でも可)が、それぞれの視点から記載すること。
 - ・本推薦書は、3名の者からの提出を要する。従って、記載内容は記載者によって異なることを前提とする。
 - ・本推薦書に記載の内容は、候補者本人を含め他者には口外しないこと。

◎本様式中、破線枠については書類作成上の注意事項であり、実際の申請書類には記載しないこと。

- ・本調査書について、不実または虚偽の記載、もしくは様式に対し適正な記載がされていない等の推薦案件は、審査の対象から除外する。
- ・本調査書は、A4縦用紙にワープロ書き（フォントサイズ 10.5pt 以上）で作成し、7枚以内にまとめること。（両面印刷不可）

様式10

若手科学者賞 候補調査書

1. 業績名

--

- ・業績名は、応募対象とする研究テーマの内容を的確に表すものを記載すること。（複数不可）
- ・業績名は、「〇〇〇分野における〇〇〇の研究」とすること。
- ・業績名は語尾を含めて28文字以内とすること。

2. 推薦機関

機関名			
代表者氏名			
所在地等	〒	—	
	TEL :		
推薦事務担当者			
所属・ ^{かりがな} 氏名			
連絡先	TEL :	FAX :	
	E-Mail :		

- ・本項については、推薦機関ならびに、その機関内の推薦事務担当者について記載すること。
- ・推薦機関とは、文部科学省研究振興局長が指定し、推薦依頼を発出した機関。
- ・「所在地等」欄は都道府県名から記入し、番地等の数字はハイフンで結ぶこと。
- ・「推薦事務担当者」欄については、「3. 本件内容に関する問い合わせ先」に記載された者と連絡がとれない場合に、確実に連絡のとれる者を記載すること。（複数名記載可）なお、災害等の不測の場合を除き、一定期間連絡がとれない場合には、審査の対象から除外することがある。
- ・本調査書を含む申請書類についての責任は、推薦機関にあるものとする。

3. 本件内容に関する問い合わせ先

所属・ ^{かりがな} 氏名			
連絡先	TEL :	FAX :	
	E-Mail :		

- ・「本件内容に関する問い合わせ先」欄には、候補者の業績について、文部科学省からの質問等（技術的内容を含む）に対して適切かつ確実に応答のできる者を記載すること。（但し、候補者本人は不可。）
- ・必ず連絡のとれる者を記載すること。（複数名記載可）

4. 受賞候補者

氏名・年齢・生年月日	ふりがな 〇〇〇〇 (〇〇歳) (昭和〇〇年〇〇月〇〇日生)
所属・役職	(株) 〇〇工業 〇〇開発部長
候補者の現住所	〒 ー 〇〇県〇〇市〇〇町 1-1

- ・受賞候補者は、本件業績について、科学技術上の貢献が客観的に確認できる者。
- ・氏名は、原則として戸籍と同一の文字を使用すること。必ずふりがなを付すこと。
- ・年齢は、表彰年度の4月1日現在の満年齢。
- ・現住所は都道府県名から記入し、番地等の数字はハイフンで結ぶこと。
- ・株式会社は(株)、財団法人は(財)、社団法人は(社)とし、役職は正確に記載すること。

5. 受賞候補者の研究経歴

年 月 日	所 属 ・ 役 職	研 究 テ ー マ
昭和〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇大学〇〇部〇〇学科卒業	〇〇専攻
昭和〇〇年〇〇月〇〇日～	(株) 〇〇工業〇〇部 同 〇〇部主任	〇〇〇の研究 (〇〇領域担当)
平成〇〇年〇〇月〇〇日～	同 〇〇開発部長	<u>△△△の研究</u> (<u>△△領域担当</u>)

- ・受賞候補者の最終学歴から現在までの研究経歴について記載すること。
- ・「研究テーマ」欄について、最終学歴の行に、就学中に専攻していた分野を記載するとともに、その後に携わった研究テーマをそれぞれ「所属・役職」に対応するように記載すること。
- ・応募対象とする研究テーマに下線を付すこと。

6. 組織概要

候補者氏名	会社名称	資本金 (百万円)	従業員数 (人)	年間売上げ (百万円)	主要製品名 (売上げ比率)
〇〇〇〇	株式会社〇〇工業				

- ・組織の概要を示す資料(パンフレット等)を添付すること。
- ・大学等の公的機関の場合には、「会社名称」および「従業員数」欄の記載のみで可。

7. 表彰歴

表彰年月日	表彰名称	表彰業績名	表彰主催団体名
昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (受賞者氏名: 〇〇〇〇)	〇〇〇〇賞	「〇〇〇〇の開発」	(財) 〇〇協会
平成〇〇年〇〇月〇〇日 (受賞者氏名: 〇〇〇〇、△△△△、□□□□)	〇〇〇〇賞	「〇〇〇〇の発明」	(社) 〇〇学会

- ・応募対象とする研究テーマにおいて、受賞候補者が表彰を受けた事項をすべて記載すること。
- ・表彰年月日、表彰名称等の各項目は正確に記載すること。
- ・受賞者氏名欄について、連名による受賞の場合には、すべての受賞者氏名を記載すること。(本件候補者氏名に下線を付すこと)
- ・表彰歴欄に記載したすべての受賞について、表彰状の写ならびに、受賞理由および業績内容のわかる資料(表彰主催団体の対外発表資料、新聞記事等)の写を添付すること。

8-1. 業績の概要

応募対象とする 研究テーマ (研究期間)	〇〇〇〇の研究 (昭和〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月)	
共同研究者氏名 (役職)	〇〇〇〇 ((株)〇〇工業〇〇開発部長)、△△△△ (〇〇大学教授)、 □□□□ (〇〇大学教授)、▲▲▲▲ (〇〇研究所主任研究員)、 ◇◇◇◇ (〇〇研究所研究員)	
候補者の担当領域		
候補者の貢献度	%	※「候補者の貢献度」とは、本候補者が当該研究テーマの遂行・進捗どの程度 貢献したかを共同研究者との相対的關係から数値化したもの。
<p>(1) 応募対象とする研究テーマの当該分野における位置付け</p> <p>当該分野における本研究テーマの目的を含めて簡潔明瞭に記載。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>(2) 応募対象とする研究テーマの具体的内容</p> <p>①本候補者の研究の内容</p> <p>本候補者の研究の独創性が、明確かつ理解できるように記載。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>②本候補者の着眼点とその論理的根拠</p> <p>本研究テーマにおける具体的研究手法・手段を含めて簡潔明瞭に記載。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>(3) 当該分野における研究のながれ</p> <p>当該分野における研究動向 (方向性・手段等) について、現状ならびに問題点を中心に記載。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>(4) 当該分野における本候補者の着眼点の優秀性</p> <p>本候補者の着眼点の優秀性を、当該分野に対するインパクト等を含めて記載。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>		

・本項は、A4縦用紙1枚で簡潔にまとめ、当該分野の専門家以外の者にも理解できるように作成すること。

・文章はすべて簡条書きとし、簡潔明瞭に記載すること。(図表等の使用は不可)

・受賞候補者の成果と関係のない記述はしないこと。

8-2. 応募対象とする研究テーマの内容

本調査書8-1 (2) 応募対象とする研究テーマの具体的内容 (①本候補者の研究の内容、②本候補者の着眼点とその論理的根拠)、(4) 当該分野における本候補者の着眼点の優秀性について、図表を用いて理解し易く説明すること。

- ・本項は、A4縦用紙1枚で簡潔にまとめ、当該分野の専門家以外の者にも理解できるように作成すること。
- ・参考図は、カラー可とする。(ただし、写真の貼付は不可。)
- ・参考図について、特許公報等の図の転用は原則不可。(やむをえず特許公報等の図を使用する場合には、内容を理解するうえで必要な説明をすべて付すこと。)
- ・参考図には必ず概要説明を付すこと。

8-3. 応募対象の研究テーマに関する主要論文・特許・実用新案（5件以内）

<p>①論文名：「〇〇〇〇〇〇の研究」</p> <p>②掲載誌名・巻号・頁・発表年月：〇〇学会誌 vol.〇 p〇～〇、〇年〇月発表</p> <p>③当該論文の概要</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	
<p>①論文名：「〇〇〇〇〇〇の研究」</p> <p>②掲載誌名・巻号・頁・発表年月：〇〇学会誌 vol.〇 p〇～〇、〇年〇月発表</p> <p>③当該論文の概要</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	
<p>①論文名：「〇〇〇〇〇〇の研究」</p> <p>②掲載誌名・巻号・頁・発表年月：〇〇学会誌 vol.〇 p〇～〇、〇年〇月発表</p> <p>③当該論文の概要</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	
<p>①登録番号・タイトル</p> <p>②出願（登録）年月日</p> <p>③当該特許の概要</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	<p>：特許第〇〇〇〇〇〇号 「〇〇〇〇装置」</p> <p>：昭和〇〇年〇〇月〇〇日出願（昭和〇〇年〇〇月〇〇日登録）、</p>
<p>①登録番号・タイトル</p> <p>②出願（登録）年月日</p> <p>③当該特許の概要</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	<p>：特許第〇〇〇〇〇〇号 「〇〇〇〇装置」</p> <p>：昭和〇〇年〇〇月〇〇日出願（昭和〇〇年〇〇月〇〇日登録）、</p>

- ・本項は、A4縦用紙1枚で簡潔にまとめ、当該分野の専門家以外の者にも理解できるように作成すること。
- ・応募対象とする研究テーマに関する受賞候補者の主要な論文（査読付き論文）の論文名、掲載誌名、巻号、頁、発表年月（西暦）を記載するとともに、当該論文の概要について簡条書きで記載すること。
- ・応募対象とする研究テーマに関する主要な特許・実用新案（成立特許・実用新案のみ）の登録番号、タイトル、出願年月日（登録年月日）を記載するとともに、当該特許の概要について簡条書きで記載すること。
- ・主要論文・特許・実用新案あわせて5件以内で記載。

8-4. 応募対象とする研究テーマに関する成果

①研究論文一覧	
◎1.	〇〇〇〇 ((株)〇〇工業〇〇開発部長)、△△△△ (〇〇大学教授)、□□□□ (〇〇大学教授)、 「〇〇〇〇の開発とその効果について」(〇〇学会〇〇賞受賞)、〇〇学会誌 vol. 〇 p〇~〇、 〇〇年〇〇月発表
◎2.	〇〇〇〇 ((株)〇〇工業〇〇開発部長)、□□□□ (〇〇大学教授)、◇◇◇◇ (〇〇研究所研究 員)、「〇〇〇〇の効果的利用について」、〇〇学会誌 vol. 〇 p〇~〇、〇〇年〇〇月〇〇日發 表
3.	
4.	
	: : :
~~~~~	
~~~~~	

- ・応募対象とする研究テーマに関係する受賞候補者のすべての論文(査読付き論文)について、執筆者氏名、論文名、掲載誌名、巻号、頁、発表年月(西暦)を記載すること。
- ・執筆者氏名について、共著であれば、本件候補者を含む全員の役職・氏名を論文と同じ順番で省略せずすべて記載し、本件候補者氏名には下線を付すこと。
- ・本調査書「8-3. 応募対象の研究テーマに関する主要論文・特許・実用新案」に記載した論文については、本項にも記載するとともに、◎印を付すこと。
- ・本項に記載した論文に関連する研究について、各種表彰や学会賞等を受賞している場合には、その旨を論文名の後にかっこ書きで記載すること。
- ・本項に記載したすべての論文の写を添付すること。(写についてはA4縦用紙で統一すること。両面印刷可。)

②特許・実用新案一覧

- ◎ 1. 特許第〇〇〇〇〇〇号 (特公昭〇〇-〇〇〇〇号)「〇〇の製造方法」、
昭和〇〇年〇〇月〇〇日出願 (昭和〇〇年〇〇月〇〇日登録)、
全発明者氏名：〇〇〇〇 ((株)〇〇工業〇〇開発部長)
2. 特許第〇〇〇〇〇〇号「〇〇〇の成型方法」(〇〇学会〇〇賞受賞)、
平成〇〇年〇〇月〇〇日出願 (平成〇〇年〇〇月〇〇日登録)
全発明者氏名：〇〇〇〇 ((株)〇〇工業〇〇開発部長)、△△△△ ((株)〇〇主任研究員)、□□□□
□ ((株)〇〇研究員)
- 3.
- 4.
- :
:
:

- ・応募対象とする研究テーマに関係する受賞候補者のすべての特許・実用新案 (成立特許・実用新案のみ) について、特許番号、タイトル、出願年月日 (登録年月日)、全発明者氏名を記載すること。(本件成果と直接関係のない特許・実用新案については記載しないこと。)
- ・発明者氏名について、共同開発であれば、本件候補者を含む全員の職、氏名を特許公報と同じ順番で省略せずすべて記載し、本件候補者氏名には下線を付すこと。
- ・本調査書「8-3. 応募対象の研究テーマに関する主要論文・特許・実用新案」に記載した特許・実用新案については、本項にも記載するとともに、◎印を付すこと。
- ・本項に記載した特許・実用新案に関連する研究について、各種表彰や学会賞等を受賞している場合には、その旨をタイトルの後にかっこ書きで記載すること。
- ・本項に記載したすべての特許・実用新案の写を添付すること。(写についてはA4縦用紙で統一すること。両面印刷可。)

履 歴 書

氏 名 ふ り が な
 ○ ○ ○ ○

生年月日 昭和○○年○○月○○日 (○○歳)

本 籍 地 ○○県○○市○○町 1-1

現 住 所 ○○県○○市○○町 1-1

現 職 (株)○○工業 代表取締役社長

(学 歴)

昭和○○年○○月○○日 ○○大学○○学部○○学科卒業

(職 歴)

自昭和○○年○○月○○日 (株)○○工業 入社

至昭和○○年○○月○○日

自昭和○○年○○月○○日 (株)○○工業 ○○課長

至昭和○○年○○月○○日

自平成○○年○○月○○日 (株)○○工業 代表取締役社長

至 現 在

(公 職 歴)

自平成○○年○○月○○日 ○○会議 ○○委員

至 現 在

(民間団体歴)

自平成○○年○○月○○日 (財)○○協会 理事

至 現 在

(賞 罰)

表彰年月日	表彰業績名称	表彰主体	受賞者
昭和○○年○○月○○日	○○賞	(財)○○協会	本人他○名

